

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	焼津市公共下水道整備事業（2期）												
計画の期間	平成31年度 ～ 平成32年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	焼津市												
計画の目標	老朽化した処理場施設の改築を行い、生活排水などの汚水浄化により自然環境を保全し、安全・安心、快適な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	209	A	209	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	汐入下水処理場の老朽化した設備の改築更新率をH31当初63.5%（=337箇所／531箇所）からH32末79.1%（=420箇所／531箇所）に増加 汐入下水処理場の老朽化により改築更新すべき設備数のうち、改築更新された設備数の割合 処理場設備改築更新率(%) = (改築更新された設備数(箇所)) / (老朽化により改築更新すべき設備数(箇所))	64%	%	79%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	焼津市	直接	焼津市	終末処 理場	改築	汐入下水処理場設備改築	機械・電気設備及び建築・建 築設備の更新	焼津市	■	■				209		策定済
		長寿命化																	
											小計						209		
											合計						209		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

委員会は5人以内の委員で組織する。  
委員は学識経験者や市民のうち、市長が委嘱する。

事後評価の実施時期

令和4年度

公表の方法

市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・老朽化した施設・設備の更新により保守点検費、修繕費などの維持管理費の低減を図った。
- ・信頼性の高い設備機器の導入により処理場運転の安定性の向上に寄与した。
- ・施設・設備の更新により現行施設の長寿命化の実現性の向上に寄与した。
- ・計画的な施設改築と設備更新によるライフサイクルコストの低減対策を図った。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

ストックマネジメント計画に基づき、令和2年度から令和6年度までの整備計画により施設・設備の更新を推進していく。

